

信頼と覚悟

主任司祭 吉池 好高

クリスマスの喜びのうちに2014年を迎え新年のご挨拶を申し上げます。

クリスマスの神秘を知ったことによって、私たちが迎える新年の日々はいつも、クリスマスに祝った、インマヌエルとなって私たちとともにいてくださる主イエス・キリストに従って生きる日々となったのです。このことに心を向けて、新たな年を迎えたいと思います。

インマヌエルとなって、わたしたちもとに来てくださった神の子イエス・キリストは、私たち全ての者の父である神を私たちに示してくださいました。そればかりではなく、父なる神の子として私たちのもとに来てくださったイエス・キリストは十字架の死に至るその全生涯を通して、父なる神の子として生きる生き方を示してくださいました。イエス・キリストが私たちに示しておられる神の子としての生き方は二つの点に要約されます。その第一は、父なる神への絶対的な信頼です。そこから、イエス・キリストが示された神の子として生きる者の第二の特徴が浮かび上がってきます。父なる神への絶対的な信頼のうち生きるということは、行く手にどのようなことが待ち受けていようとも、全てを神に委ねる覚悟をもって生きるということです。

私たちのうちにその覚悟が整うとき、私たちは自分一個の将来への恐れから解き放たれます。そのようにして、私たちは、自分を捨ててイエス・キリストのみ後に従う者たちの心の身軽さを味わうことができます。その心の身軽さをもって、ともに生きる人々の重荷を引き受けて、仕える者として生きる覚悟を新たにしたいと思います。

仕える者となって生きる労苦の日々の中で、「疲れた者、重荷を負う者はわたしのもとに来て下さい。休ませてあげよう」と呼びかける御声の甘美さを味わうことができますように。